

BLSOプロバイダーコース

2026 in 北海道ハイテクノロジー専門学校

『妊産褥婦・新生児への対応法を医療者のBasicに』

日時 : 2026年1月24日(土) 8:45~17:30(予定)
会場 : 北海道ハイテクノロジー専門学校 第5校舎
恵庭市恵み野北2-12-1
主催 : HOPPIE(北海道周生期医療救急支援の会)
共催 : 札幌市、NPO法人周生期医療支援機構(OPPIC)、WIND
対象 : 病院前産科救急に関わる救急隊員、救命救急士、
救急科医や家庭医、看護師、助産師など
定員 : 18名程度(応募者多数の場合は札幌近郊の方が優先となります)
参加費 : 15,000円(認定料含む)

ALSO



ホッピーくん

Basic Life Support in Obstetrics (BLSO) は、日常的には妊産婦・新生児に関わらないものの、突如急変場面に遭遇する可能性がある救急隊、救急救命士、救急科の看護師・医師・家庭医を主な対象とした教育プログラムです。

- ・産科疾患の見落としを避ける
- ・周産期施設以外での分娩を避ける
- ・しかし、避けられない事態に遭遇した際の対処を行うことができる

この目標に対し、分娩介助・新生児蘇生・女性傷病者の評価を講義と実技のワークステーションを行い、チーム医療の推進にも着目した症例検討を行う1日コースです。受講後、筆記試験とマネキンを用いた実技試験に合格すると米国家庭医療学会とALSO-Japanが認定する3年間有効の認定証が発行されます。今回の講習会を通じて、周産期についての知識を深め、病院前、救急外来、周産期で顔の見える関係を築きましょう。

当コースは、「さっぽろ連携中枢都市圏事業」によって、札幌市からのご支援を受けて開催しています。



つながりが、新しい未来をつくる

さっぽろ
連携中枢都市圏

● Sapporo ● Otaru ● Iwamizawa ● Ebetsu ● Chitose
● Eniwa ● Kitahiroshima ● Ishikari
● Tobetsu ● Sorachi ● Nemuro ● Kushiro ● Nemuro

募集期間 : 2025年11月1日(土)~11月15日(土)
申し込み方法 : 下記のフォーム、またはQRコードからお申し込み下さい
<https://forms.gle/RutxQDQbAUMCARYe6>



お問い合わせ先 : 南空知消防組合 南幌支署 救急救命士 西澤賢治
res999meisi@gmail.com
※職場へのご連絡はお控えください。

スケジュール（予定：変更の可能性あり）

時 間	内 容
8:30～	受付
8:45～ 9:00	オープニング
9:00～12:15	分娩介助、新生児蘇生、女性傷病者の評価
12:15～13:00	休憩
13:00～14:00	試験
14:10～15:10	症例検討
15:20～16:20	救急車内分娩
16:30～17:00	振り返り・まとめ
17:00～17:20	クロージング

使用テキスト（事前学習に必要です）

下記のテキストをご用意ください

- ・日本版救急生成ガイドライン2020に基づく、新生児蘇生法テキスト第4版（監修：細野 茂春 発行：メジカルビュー）
- ・病院前救護のための産科救急トレーニング - 妊娠女性・院外分娩に対する実践的な対処法（監訳：新井 隆成 発行：中外医学社）

翌日に

『HUG（避難所運営ゲーム）で考える災害時の母子支援』を開催します

日時：2025年1月25日(日) 9:30～13:00（予定）

・避難所運営ゲーム（HUG）で考える災害と避難所

場所：北海道ハイテクノロジー専門学校 第5校舎

参加費:無料 募集人数:約30人

対象者：医療・福祉・教育・保育・学生・行政などの支援者

（医療知識は問われません）

申し込み:下記フォーム、またはQRコードからお申し込み下さい

<https://forms.gle/uxV9UM4VASRS8MuB9>

募集期間:2025年11月1日～12月15日

お問い合わせ先:旭川医科大学病院 救命救急センター

片山 恵理 Jimu.ekatayama@gmail.com



本研修会は、助産実践能力習熟段階Ⅲ認証更新要件である「選択研修」に該当します